

消毒液まみれの地球
その少し離れたところにある
冬の月

郡司和斗（茨城県）

「離れたところ」を想うことによって、ここ「消毒液まみれの地球」に居る自分自身の存在が浮かび上がってきます。コロナ禍に見舞われた世界から見上げる「冬の月」、「少し」がとても遠くに感じられます。

発展したくないね、と
名も知らぬ花に
しゃがみ込んで囁く

風船（東京都）

「発展」の名のもとに奪われてきたたくさんのもの。「発展」は暴力性と無縁ではない。社会の成り立ちに対する違和感が、世の中からこぼれ落ちたような「名も知らぬ花」に心を寄り添わせる。

烏龍茶の「うー」が
鳥では無いと知った日
僕はユニクロで
喪服を買った

広田 土（大阪府）

歳を重ねてゆくと、知っていることが増えてゆくと同時に失うものも増えてゆく。「ユニクロ」と「喪服」の取り合わせに、死も日常の一部であることが改めて思い起こされます。

昼休みの
ここは
浴槽みたいに 静か
あたし ひとり

春町 美月（大阪府）

ほんの少し離れたところには賑やかな音に満ちた世界があるのに、「あたし」は「ひとり」でしんとした音のない世界に浸かっている。それはとてもさみしくてやすらか。

授業中君の耳が透けていた
消えてしまう前に
つまんでしまうかもしれない

浮遊孤（福岡県）

「君の耳」が「透けて」見えるのは、<私>のまなざしが透明だから。イノセントな感覚が伝わってきて惹かれます。

平成の怪物堂々引退す
平成の凡夫は今日も
鞆を振るう

八雲陽（愛知県）

「平成の怪物」と引き比べ「平成の凡夫」と揶揄しながらも、黙々と働く自らへの矜持が感じられます。同じく「鞆を振」っている人たちへのエールにもなっているのではないのでしょうか。

ダークチェリー 滴る
世界はここだけみたい

翠（東京都）

「ダークチェリー」のあの凝縮された色と味の濃さには確かに「世界はここだけ」だと思わせるものがありますね。

フウセンカヅラの窓辺
カルピスの包み紙を
もう一度
瓶のかたちに戻したね

春町 美月（大阪府）

時間を巻き戻したいという気持ちが表されているのかもしれませんが、やわらかななんでもない時間の尊さが描かれているように思えました。かつて自分の過ごした夏の日がなかったかのように間違いなくあった時間が蘇ってきます。

隣家にはみ出た枝を落とした
地下のことは分かりません

降旗 沃（東京都）

「隣家」との微妙な関係。「地下」でもきっと根っこが隣家の敷地へと伸びている。「地下のことは分かりません」の語り口にユーモラスな響きを感じつつも、国と国との関係のようにもウイルスの様相のようにも読めてきて、見えないところでじわじわとしのびよるものの存在を思わずにはいられません。

ラジオ体操のスタンプが
可愛くて通ってた公園

今では
見向きもしない仕事帰り

まちりこ（埼玉県）

一人の人間に流れる時間の容赦のなさを思います。それでも「スタンプが可愛くて通ってた公園」という記憶が心にしまわれていることに、ほっとさせられます。

半透明なものはみな宝石だと
いう
君の
のむ
麦茶

立花ばとん（東京都）

「半透明なものはみな宝石」という「君」が飲めば、「麦茶」だって「宝石」になる。世界は言葉で鮮やかに書き換えてゆくことができる。

生命はぽつぽつと逝く
カーテンの一つ外れた
フックのような

うずたろう（埼玉県）

比喩が強く印象に残る一篇です。「ぽつぽつ」と「生命」は世界のあちこちで失われてゆく。宇宙的視点からすると、死はうっかりかけ忘れた「フックのような」ささやかさで自分の元にもやってくる。

スマホ覗く私の顔を
巨大な蜘蛛が覆ってた
笑ったら
長い手足がジクジク動いた

藤ほたる（神奈川県）

内に抱える不安が「巨大な蜘蛛」となって可視化されています。顔の筋肉と連動し「ジクジク動いた」ということでしょうか。このオノマトペによって恐ろしさが増幅され、「笑ったら」が鋭い痛みとなって刺さります。

逆光のかみのけゆれる たましい
は星になるときいちばんほんとう

白野（新潟県）

それぞれの言葉が響き合い、ふるえるような輝きとさみしさが伝わってきます。また、「かみのけ」「ゆれる」「たましい」「いちばん」「ほんとう」のひらがな書きから、すでに「たましい」が宇宙へと還ろうとしているようにも感じられました。

色鉛筆の赤と金を
8月中に買い足さなくちゃ

茶和鈴（東京都）

「赤と金」は「8月」を構成するのにふさわしい色ですね。夏の残る九月のための色でもあられるでしょう。神様のひとりごとのようにも読めて、キャンバスが無限に広がってゆきま

無観客の復興五輪
福島ソフトボール会場には
熊が観に来たそうです

加藤 美紀（愛知県）

感情が描かれていないことと熊の登場というほのかなユーモアによって、かえって強く現状への憤りと悲しみが伝わってきます。

パワートゥザピープル
ドンキの内奥で
呼び込みくんを抱きしめている

青木雅（埼玉県）

みずみずしく大胆な感情の発露を目の当たりにしたかのよう。舞台装置が効いていて、世界の至るところで勇敢な愛が明かされているのだという気持ちになりました。

他にも心に残る詩がたくさんありました。
八月の作品も楽しみにしています。